

ネイティブ微生物キサンチンオキシダーゼ

Cat. No. DIA-218

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 キサンチンオキシダーゼは、反 \square 性酸素種を生成する酵素の一種であるキサンチンオキシドレダクターゼの一形態です。これらの酵素は、ヒポキサンチンをキサンチンに酸化する反 \square を触媒し、さらにキサンチンを尿酸に酸化する反 \square も触媒することができます。これらの酵素は、ヒトを含むいくつかの種におけるプリンの異化において重要な役割を果たしています。

用途 この酵素は、プリンヌクレオシドホスホリラーゼおよびウリカーゼと結合した際に、無機リン、5'-ヌクレオチダーゼおよびアデノシンデアミナーゼの酵素的測定に有用です。

別名 EC 1.1.3.22; キサンチンオキシダーゼ; XO; XAO

製品情報

由来	微生物
外形	赤褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された
EC番号	EC 1.1.3.22
CAS登録番号	9054-84-6
分子量	approx. 160 kDa
活性	グレードII 10U/mg-固体以上
混入物	カタラーゼ < 5% アデノシンデアミナーゼ < $1.0 \times 10^{-3}\%$ ウリカーゼ < $1.0 \times 10^{-3}\%$ ホスファターゼ < $1.0 \times 10^{-3}\%$ プリンヌクレオシドホスホリラーゼ < $5.0 \times 10^{-3}\%$
等電点	4.0 \pm 0.1
pH安定性	pH 6.5-9.0 (25°C, 15時間)
最適pH	7.5-8.0
熱安定性	55°C未 \square (pH 8.0、30分)
最適温度	65°C
ミカエリス定数	$4.5 \times 10^{-5}\text{M}$ (キサンチン), $7.6 \times 10^{-5}\text{M}$ (ヒポキサンチン)
阻害剤	還元剤、Hg ⁺⁺ 、Ag ⁺ 、MIA
安定化剤	グルタミン酸ナトリウム、BSA

保管・発送情報

安定性 -20°Cで少なくとも1年間安定しています